

第5回 第十一次東大和市男女共同参画推進審議会 会議録

日 時 令和7年12月18日（木曜日）午後7時～ 午後8時50分

場 所 中央公民館301学習室

出席委員 古賀委員、渡瀬委員、後藤委員、岡田委員、檜山委員、島津委員、濱田（綾）委員、
濱田（裕）委員、水落委員

欠席委員 西委員、鈴木委員、太田委員

事務局 市民生活課長、総務係

会議の種別 公開

傍聴者数 0名

会議次第 別紙のとおり

配付資料

（資料1）第三次東大和市男女共同参画推進計画令和6年度年次報告書についての答申（再修正案）

（資料2）答申（最修正案）新旧対照表

（参考資料）第4回 第十一次東大和市男女共同参画推進審議会会議録

（追加資料1）答申（再修正案）「はじめに」新旧対照表

（追加資料2）東大和市防災会議の概要

1 開会

会 長：それでは、定刻になりましたので、ただいまから第5回第十一次東大和市男女共同参画推進審議会を開催いたします。

本日の委員の出席について、事務局より報告をお願いいたします。

事務局：それでは、本日の委員の出席について報告いたします。

本日は、西委員、それと鈴木委員から欠席の連絡を受けております。太田委員のほうからは特に連絡がないのですが、恐らく数分遅刻という形になると思われます。

本日の審議会は、東大和市男女平等を基本とした男女共同参画の推進に関する条例第25条第2項に基づき、本日の出席委員が現時点で12人中9人で、委員の過半数が出席していることから会議が成立しております。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございました。

それでは、あとは傍聴人の方ですけれども。

事務局：おりません。

会 長：いらっしゃらない、分かりました。

いらっしゃらないので、このまま審議に入っていきたいと思います。よろしいですね。

すっかり寒くなりましたが、今回、実質最終の審議会なので、よろしくお願いいたします。効率的にやりたいと思います。

それでは、審議会に入る前に、事務局から発言の申出がありましたので、発言することに対して異議はないでしょうか。よろしいですか。

(異議なし)

会 長：異議ないようでございますので、事務局、お願いします。

事務局：それでは、審議に入る前に、事務局より本日の会議の進行について、皆様にお願いがございます。先ほど、会長のほうからもありましたとおり、本日の審議会が今年度最後の審議会となっております。そのため、本日は事前に配付しております答申の最終提案、こちらを確認、微修正できればと考えております。委員の皆様におかれましては、本日の審議で漏れのないよう意見を出していただき、答申に修正があった場合は、文言まで確定いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、最後にまとめの時間等もつくりたいというところがございますので、審議の時間につきましては、1つの目標に対しましておおむね20分程度を目途にご発言いただきますよう、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございました。

よろしゅうございますか。今回も私が司会させていただきますので、事務局からも厳しい時間管理と言われているので、私の司会進行が心配なんじゃないかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 審議事項

会 長：それでは、審議に入ります。

審議事項でございます。第三次東大和市男女共同参画推進計画令和6年度年次報告書の答申についての審議に入ります。

審議の進め方でございますけれども、「はじめに」と計画全般にというパートと、目標1、2、3ごとに説明を事務局からしてもらって、ご意見を賜って、答申をほぼ完成させていきたいと思います。

「はじめに」及び「計画全般について」について

会 長：それでは、まず初めに、「はじめに」と計画全般についてから、事務局から説明をお願いします。

事務局：これから説明します内容については、「はじめに」につきましては、追加資料1「はじめに」の新旧対照表を基に、それ以外につきましては、資料2の新旧対照表を基に説明させていただきます。

それでは、「はじめに」の説明をいたします。追加資料の1をご覧ください。

「はじめに」についてですが、前回の審議会では会長と事務局で調整した案を委員さんに承認していただいております。その後、事務局と会長で再度調整した結果、「周知・徹底を図り、着実な定着を図ってください」の文言について、定着ではなく、推進という表現を用いて、「一層の推進を図ってください。」に変更させていただきました。

また、最後の段落の「必ず」と「達成する」の間に「目標」という文言を追加しております。

「はじめに」については、特にご意見がなければ、この内容で決定したいと思います。

次に、計画全般についての説明をいたします。

資料2、新旧対照表の計画全般についてをご覧ください。

まず、2段落目の「以下の4点について、検討してください。」について、検討事項となる4点に附番したほうがよいのではないかというご意見をいただきましたので、各検討事項の頭に、1、2、3、4と附番させていただきました。

次に、1点目の初めの部分ですが、「大きなイベント等」という文言を使っておりますが、ここでは常日頃から各課で連携するという委員のご意見でしたので、「課ごとではなく、日常的に課を横断したような情報発信をしてください。」という文言に変更しております。

次に、2点目の2行目ですが、修正前の「情報が触れやすくできるように」という文言を、「情報が触れるよう」という文言に変更しております。

また、修正前は「他市の商業施設」という文言を、他市では遠く感じてしまうというご意見から、「近隣市の商業施設」に変更しております。

次に、3点目の初めの部分ですが、修正前では「多くの市民はスマートフォンで情報を取得しています。」という断定的な文言を、スマートフォンを使用しない市民も多くいることから、「スマートフォンで情報を取得する方が増えていることから、」に変更しております。

次に、4点目ですが、修正前は「必要な」という文言を3回も多用しており、少しくどいというご意見から、最初の「必要な情報」は削除しております。

また、修正前の「セグメントの数を増やす」という文言は分かりづらいとのご意見があったので、削除させていただきました。

下から2行目の「必要な情報」の文言は、修正前は「必要な情報のみ」でしたが、「のみ」の文言は削除させていただきました。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございます。

それでは、審議に入りたいと思います。

まず、「はじめに」のところでございますが、修正したところは、前回の案では、達成している事業については周知徹底を図り、着実な定着をと書いてあるんですけども、そもそも周知徹底って何なのみたいなのは、ちょっと改めて読むとありましたので、そこはもう、今の案になっています、目標を達成している事業については一層の推進を図ってくださいというふうにしております。

最後の段落は、未達成について、ここが一番肝腎なところでございますけれども、4年間で必ず達成してくださいという言い方にしております。ちょっと言葉の、段落のつながりとしては、最後の「未達成の事業については」の前に、「また、未達成の事業については」みたいなほうがいいかなと、改めて読むと感じています。

「はじめに」は、こちらでよろしゅうございますか。

委 員：特に、絶対直してくださいというわけではなくて、ちょっと最後の未達成のというところで、ここ、かなり強い文言が2つ入っているなというふうに思っておりまして、答申ですので、「強力に」というのと、「必ず」というのはすごく強い言葉だなと思いますので、思いは分かるんです、もうやってくださいねという思いは非常に分かるんですけども、ここは、私は「必ず」は消してしまってもいいんじゃないかなと思うんです。それで、これまで以上に強力で推進していただき、残り4年間で目標達成するようにお願いいたします。このぐらいのトーンで、あくまでも答申でございますのでよろしいんじゃないかと思うんですけども、いかがでしょうか。

会 長：ほかの委員の方、いかがでしょうか。

委 員：私は強めでいいと思いますけれどもね。絶対やってほしいですよ、やっぱり。ずっと持ち越し、持ち越しですよ。

会 長：その感覚は、すみません、私がつくっている、主なので、私というよりは、皆さんが、いや、ちょっと強いんじゃないというのであれば。答申ってそんなもんなんですか。

委 員：本当に法的拘束力はないので、とにかく思いは、ちゃんと達成してくださいねという思いをもう伝えるということで、あとは市の方側に、もう届けましたよというところなので、あまり脅迫的な、脅迫というか、強制といいますか、最初のこの強力にということも強いなとは思ってたんですけども、この審議会で議論をしている中で、これは必ずやってもらいたいねという話が結構出ましたので、これはこのまま残していいと思うんですね。強力にというだけでも、これは結構強い言葉だと思うんですけども、それで推進していただきという、「いただき」

をつけたらどうかなと思ったんですね。

それで、残り4年間で、目標ということをちゃんと明記しましたので、4年間で目標を達成するようにお願いいたしますというと、かなり「はじめに」にする言葉としてはよろしいんじゃないかなと私は思います。

会 長：要は、これだと下品になっちゃうわけですね。

委 員：下品というか、何といいますか。

会 長：いや、分かります。

委 員：イソップ童話の北風と太陽みたいに、ビュンビュンと北風だともう、よりええって思うけれども、太陽みたいな感じだと、やらなくちゃいけないなという感じになるかなと、ちょっと思った次第です。

会 長：そういうほうが、今どきはやってくれるんじゃないかということですか。

委 員：強力にという言葉は入っていますので。

会 長：分かりました。そこら辺は、いろいろお作法もあるかと思いますが、逆にこれぐらい強く言わないと、僕は駄目だろうなと思って書いた次第なので。

決を採るような話じゃないような気もするんですけども、どうなんでしょうか。事務局、困りますか、決めないと。

事務局：そうですね。最後の会議なので、決めていただけるとありがたいかなというふうには。

会 長：でも、それぐらい、いや私があまり言っちゃうと、皆さん、そう言わざるを得なくなるかもしれないんですけども、逆にちゃんとやってねという、推進していただきなんていう、いただきじゃないだろうと僕は思っているの、ちゃんとやれという部分なので。思いです、すみません。

委 員：じゃ、それはそれで、全然私もこだわるわけではないので、それは大丈夫です。

会 長：じゃ、一旦ここは前半でよろしいですか。

委 員：何か、前の文章でも生かしていただきという表現を取られているので、そのところで、今、推進していただきが重なりというのは、少しだけ思いました。でも、言わないとという気持ちには。

会 長：ありがとうございます。

それでは、本文のところの計画全般に入りたいと思います。

議事を反映した内容にはなっていると思いますので、改めてこの文章にしたときに、流れが悪いか、ちょっとこうじゃなかったねというのがあればというふうに思います。

4点、番号をつけたほうがいいんじゃないのというのも、確かにこのほうが見やすいかなという、ちょっと今までの答申からすると違う感じもしますが、このほうがスマートだなというふうに、前回もそういうご意見でした。

それで、私がこれを最初読んで気づいたのが、1番のところで、「課ごとではなく」というのは、課ごとでというふうに始まっているんですけども、前回の案が、大きなイベントなどで、各課で取り組んでいる事業の周知という意味では、非常に文章としてずっと入ってきたんですけども、いきなり「課ごとではなく」というのがちょっと何か、いきなり何で課なんだっけというのがあったので、ちょっとこれは事務局のお知恵も借りたいんですけども。例

えば担当部局課とか、要は縦割りじゃなくやってほしいよということだと思っんですね。なので、例えば担当部局ごとではなく、日常的に、課を横断ではなくて、組織を横断したような情報発信みたいなほうが、何かいきなり課というと、何のこっちゃになるかなと思いました。皆さんのご意見があれば。

それ以外は、大体反映されているというか、私はあまり気づかなかったんですけども。どうぞ、皆さんもご自由に、ご自身が発言したのが反映されているとか、ちょっと意味が違うねとかいうのもあるでしょうし。

委員：文言的なところで、今の会長がおっしゃった1番のところ、日常的な「課ごとではなく」というのは、僕もちょっと、そう言われてちょっと違和感を感じたので、こっちの推進計画の中の43ページ、これが多分前回の第二次推進計画の課題をまとめたものになるんですけども、43ページの互いの人権を尊重できる環境づくりと一番上にあって、最初の四角で、配偶者等からの暴力の防止という文章があるんですけども、これの最後の行に、庁内関係課との連携というような書き方をしているんですね。これ、前回の計画で課題としてそこがある中で、今回の第三次の計画に反映するという意味では、この文言が割とこの1番に近いのかなと思まして、課ごとにといきなり言うのではなくて、庁内関係課との連携というような文言に変えると、ちょっとすっといくのかなというふうに思いました。

同じように、4番の情報発信するときに、必要な情報が必要な人に確実に届くということで、これもこの43ページの下の方、大きいくくりの男女共同参画社会実現に向けた推進体制の整備・充実の中の1番目の四角、男女平等の意識づくりの、これも一番下の行に、ニーズに応じた適切な情報提供という文章があるので、ここもこれに近いのかなというのが、その2点、もし文言を何か分かりやすく、あとは計画に沿ったような内容にするのであれば、ここの文章に置き換えると、ちょっとすっといくのかなというふうに思いました。

以上です。

会長：ありがとうございます。

1番目のところは、どうなんでしょうか、これはそれぞれの担当の課ごとではなくて、ちゃんと連携しなさいよという意図ですよ。

委員：課ごとではなくとかじゃなくて、庁内関係課で連携して情報発信をしてくださいということかなことだと思っんですね、この1番というのって。

会長：要約すると、今、おっしゃったように、庁内関係部局で連携した情報発信をしてくださいという。一番シンプルなのは。

委員：かなというふうに。

会長：あえて、よく言われる縦割り組織みたいなのを問題点で言いたいんだとしたら、課ごとというよりは、担当部局ごとではなくというのをあえてつけるかぐらいかなと思うんですが。

委員：そうですね。

委員：多分、前回その点ですごく話し合ったと思うんですけども、それでシンプルで課ごとというふうになったと思うんですけども、行政の方が分かっている、ここはシンプルでいいんじゃないかというので、きっと、「課ごとではなく」という、見てシンプルな文体になったと思うんですけども。見る方によっては、確かに分かりづらいつちや分かりづらいですけども。

も、行政に訴えるのだから、行政の方が分かっている方がいいのかなと思います。

会 長：ありがとうございます。

いかがでしょうか、もうちょっとどういう書き方が。ちょっと、いきなり課ごとというと唐突感が。

委 員：ありますよね。

委 員：見る人が見たら。

委 員：やっぱり、課ごとというのは文章的にね、ちょっと違和感がありますね、出だしが課ごとで。

会 長：前の各課で取り組んでいるみたいだと、あまり違和感ないんですけども。

委 員：さっき言った、庁内関係課との云々という言い方のほうがスムーズに流れるかなと。課ごとと、いきなりはちょっと厳しいというか、何かお化粧をちょっとしてほしいなという感じがする。

委 員：シンプルに、やっぱりちょっとお化粧したほうが見栄えがいいということですかね。

委 員：やっぱり、いきなり課ごとという文章がね、何かこうすっきりしないね、逆に。省略し過ぎちゃった。

会 長：庁内関係部局で連携した情報発信をしてくださいというような。

委 員：それはすごい見栄えのいい文章だと思います。

会 長：差し当たって、要は縦割りじゃなくてという意味では、担当部局ごとではなくと、あえてくどく言うかですけども。どちらにしましょうか、シンプルにいきますか。

委 員：私は、行政の方が分かってくだされば、どちらでもいいです。

会 長：ただ、市民にも発信するので、いきなり課ごとというのと、これまで私たちは何度も議論しているので、あのことねとなるんですけども、何だ、この課ごとはとなるかなというのが、ちょっと印象だったんで。

委 員：ここの議論だったらいいけれども、これが全部オープンで、市民の方に読まれるわけです。図書館にも置いていますけれども、何か違和感があるな。

だから、さっき委員がおっしゃった、あの文言に置き換えたほうがスマートかな。いわゆる横断的にやってくれという話なんだから、あと表現の問題だけですからね。

会 長：庁内関係課でいいですか。庁内関係部局課とかがいいですか。そこら辺はちょっと事務局で、センスなんですけれども。そういう意味では、庁内関係部局かな。

委 員：部というか、課だよな。

会 長：課でいいですか。

事務局：課でいいと思うんですけども。

委 員：部というのはちょっと。

事務局：1つだけちょっと思うことがあって、庁内関係課となると、関係している課に限定されてきてしまうところはあるかなと思います。ただ、業務としては、それこそ目的があってやるので、それは関係課のカテゴリーの中でやるよねという話だとは思っているので、そこはちょっと気になるところですけども、ただ、関係のないところは多分やってはこないと思うので、このままでもいいとは思っています。

会 長：今のお話だと、やはりこの「課ごとではなく」というような意味があって、担当課ごとでは

なく、日常的に組織を横断したような情報発信をしてくださいというような、というのがいいような気がしますけれども。いかがでしょうか。

あとは、もう一度戻ってシンプルで、日常的に庁内関係課で連携した情報発信をしてください。一番素直にもう。

委員：何か、さっき事務局の方、関係課だけじゃないという、さっきおっしゃっていたから、そこを取り入れると、庁内関係課だけでなくとか。

委員：分かりづらいです。

委員：何か、いきなり課ごとでなくて、否定的な言葉がすぽんと来るのが、ちょっと私、抵抗があるんですよ。

事務局：事務局で各課とか課とイメージさせていただいたのが、例えば産業まつりというのが市役所で、参加していただいたんですけれども、産業まつりっていわゆる産業を発展するためのお祭りなんです。ただ、私どもってそのブースに人権擁護委員の方のブースをつくらさせていただいていたりするんですよ。そうすると、産業まつりというものと考えると、人権擁護委員の啓発活動ってちょっと合っていないかなという部分がありまして、ただ、そのお祭りの中で人が集まるから、人権擁護委員の活動というのを普及啓発したいという考え方で出させていただいている部分がありまして、そういった全く関係のないところだけれども、人が集まるいい機会を活用して、そういった啓発活動をさせていただきたいという意味があったので、ちょっと各課とか、課とか、そういう絞り込むような表現の格好をしていなかったというイメージをつけさせていただいています。

ただ、そうすると、確かに課って何というような話にはなったりするので、そこは私どもとしては、そうさせていただきただけですので、話し合っていて決めていただくことには本当に構わないので、そんな感じです。

会長：ありがとうございました。事務局の思いも考えないといけないので。

副会長：何か、漢字がずっと並ぶので、かえってあれなんですけれども、課ごとというところがちょっと違和感がある。唐突感があるかもしれないということと、それから全てのところを網羅するようなニュアンスをとというようなことで、庁内各課単独ではなくみたいな、ちょっと漢字がずっと続くので、意味不明になる感じもありますけれども。

ただ、後半のところに、課ごとというか、単体だけじゃなくてということを強調したいために、「ではなく」というのを入れていらっしゃると思うんですけれども、後半の部分で、もう横断という言葉が入っているので、実はなくてもニュアンスは伝わるなという感じもいたします。なので、今、「ではなく」が入っていますが、それは強めで「ではなく」が入っているのかなと思って、実はなくてもいけなくもないというか、伝えたいことは言えているのかなという感じがいたします。

委員：では、「日常的に」から始めるのはいかがですか。

委員：それでいいんじゃないですか。課ごとを取ればいいんじゃないの。

委員：「課ごとではなく」、ここで皆さん、引っかかっているから。

委員：別に、課を横断すればいいんだから。そこを、横断を強めに言えばいいので、「課ごとではなく」って、何か。

委員：ここで、課とは何ぞやと引っかかってしまうわけです。

委員：言いたいのは、横断的にということだから。

会長：日常的に、ここは課でいいんですか。それとも、日常的に、組織を横断したような情報発信をしてください。

委員：これ、「横断した」でいいんですかね、「する」ではなくて。

委員：「する」だね。

委員：「する」でしょうね。

委員：「横断するような」ですね。

会長：日常的に、ここは課でもよろしいですか。

委員：課でも組織でも。

会長：日常的に組織を横断する。

委員：これはもう課でも組織でもいいんじゃないですか。どちらでもいいと思う。

会長：ちょっと事務局のその思いは、ちょっと薄まりますけれども、全体でやってくださいねという。

事務局：そうですね。イメージとすると、組織となると、例えば執行機関をまたぐことができるのかなという、ちょっと皆さんのお話の中のイメージが、執行機関って難しいですね、教育委員会ですとか、市長部局ですとか、選挙管理委員会という、そういうところのほうをもしかしたら横断できるのかなって。課というと、例えば私ども市民生活部というところに所属しているんですけれども、市民生活部の市民生活課というところなんですけれども、課を横断すると、じゃ、市民生活部だけで横断してもいいのねというふうな話にはなるかもしれない。何か、組織のほうが大ききようなイメージ感はあるような気はします。

委員：組織のほうがいいと思います。

事務局：皆さんのほうのお話だと、委員さんの目指すところが大きいようなイメージで捉えていらっしゃるのであれば、組織ということでもいいですし、ただ、これってこういう答申になりました、皆さん、考えてくださいというと、今、課単位で投げるんですよ。自分たちが置かれている状況というのを意識して、どうしていくかというのは、皆さん考えてくださいねという形になるので、答申的にも大きい話だけれども、直接刺さるには、お前たちの課のことなんだよというのもありだなという。ちょっと、ごめんなさい、困惑させてしまいそうですが。申し訳ないです。

会長：そういう意味では、おっしゃったように、やっぱり。

委員：課だね。

会長：役所の方に訴えるという意味では、そこは大切なところなので。じゃ、課でいきますか。

すみません、私がいろいろ言いましたが、「日常的に」からスタートするということで、文言を消すということですね。ありがとうございました。

あとは、先ほど委員からありました最後の段落は、ニーズに応じたみtainな表現もあるよねと。

委員：でも、正直、前に結構話し合ってわざわざ決めた文言なので、別にそこに合わす必要は特に。

会長：4番目が、それほど違和感はないような気がするんですけども、皆さんのご意見、賜られ

ば。

委員：いや、ここは議論したのを覚えていますけれども、やり過ぎて、必要な情報が必要な人にと、ぱっと言ったときに、「ん」と思っちゃう言い回し。言いたいことはそのとおりなんだけれども、必要を削ったりしたのに、何かくどいというか、ここにちょうど重なるし、やっぱりだから違和感を持って、この計画のところからもう一回、原点に戻って言葉を引っ張ってきたのはいいかなと思いましたけれども。

会長：まだ、これでもくどいという感じですか。3つ「必要」があるよねという話があつて。

委員：必要な情報が必要な人という、繰り返し言うこと自体が、言葉として何か。それだけ強調したいという気持ちがあつたのは。

会長：それも、あつたことはあつたと思います。要は、人民のための人民のみたいな。

委員：もはや、必要な情報が確実に届くでよいか。人を抜かすか。

会長：情報発信をする際には、膨大な情報の中に埋もれないように、必要な情報が確実に届くよう工夫してください。

委員：それでは駄目ですか。

委員：いいんじゃないですか。

委員：必要としている人がいると、そのようで、もちろん困っていない人にとってはその情報は関係ないねということもあるけれども、必要な人にとって必要な情報って、もう両方に係るんじゃないかなと思って、必要な情報というのが届きさえすれば。

委員：必要な情報で、必要な人がもう入っちゃっているんですよ。意味的には。

委員：と、前、熱心に議論したところですが、そういうこともあるかなと思います。ふと、冷静に思うと。

会長：あとは、先ほどの委員の、立ち返ったときは、ニーズに応じた適切な情報提供という、適切を使うかどうかぐらいですけれども。知恵がないんですけれども、適切な情報が必要な人にみたいな。

委員：そういうのもありかなとは思いましたが。そうしたら、人も残るし。

会長：そこで、適切な情報というのがいいのかどうかですけれども。

委員：過不足なくという意味の適切だとは思うんですけれどもね。

会長：適切な情報が必要な人に確実に届くよう工夫してください。あるいは、埋もれないように必要な人に確実に届くように工夫してください。どうでしょうか。

委員：でも、人のことも見落とさないという意味では、適切にして、人は残すのもありかも。

会長：では、一旦、膨大な情報の中に埋もれないように、適切な情報が必要な人に確実に届くように工夫してください。よろしいでしょうか。

(はい)

会長：ありがとうございます。

それでは、計画全般までは一応一旦ここで。

「目標1 ともに個性と能力を発揮できる社会の実現」について

会 長：続きまして、目標 1 に移りたいと思います。

ともに個性と能力を発揮できる社会の実現についてというパートでございます。事務局からお願いいたします。

事務局：それでは、目標 1 をご覧ください。

まず、1 段落目ですが、訂正が 1 つあります。前回の審議会の中で、かるがも一時保育室について、事務局より、おやつ代のみで利用料はかからないと説明しておりましたが、担当課に確認したところ、正しくは半日 1,200 円、1 日 2,400 円と、民間の一時保育室の利用料と比べると比較的安価な利用料でしたが、利用料が発生しておりました。

では、説明に戻ります。

修正前の「かるがも一時保育室の全ての利用者」という文言を、一時保育室の代替サービスについては、かるがもを使っていない人も希望者がいることから、「一時保育室の全ての利用者」という文言に変更しております。

次に、2 段落目ですが、修正前の「男女共同参画推進に資する」という文言を削除しております。

次に、修正前の「段階的に廃止するなど」を「周知期間の確保や必要な代替措置を講じる等、」への変更につきましては、段階的に廃止することがそぐわない事業もあるというご意見がありましたので、このように変更しております。

次に、3 段落目ですが、「有償ボランティア等を活用し、」については、教員の方に配慮した文言を入れたほうがよいとのご意見がありましたので、このように追加しております。

なお、前回の審議会では、小平市の朝の受入れについては、事務局で確認したところ、有償ボランティアではなく、シルバー人材センターに委託を実施しておりました。しかし、八王子市でも同じ事業をしており、そこでは有償ボランティアを活用しておりましたため、答申には有償ボランティア等のまま盛り込んでおります。

最後の段落の 1 行目、「多様な視点」の文言については、事務局のほうで「幅広い視点」という文言が少し分かりづらいとの意見があり、変更させていただきました。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございました。

今の事務局からの補足説明もありましたが、文言については、ほぼ前回の議論が含まれていることと、あと最後のところが少し言葉を変えているということでございました。改めて読んでいただいて、気になる点とか、ちょっと違うよとかということがあれば。

委 員：こちらも、前回すごいいろいろ当たった部分だと思うので、特にいいのかなというふうには思います。

あと、幅広いから多様に変ったというのは、より分かりやすいかなと思って、よろしいんじゃないでしょうか。

会 長：ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

有償ボランティアのところも、いろんなやり方があるということですし、等という言葉も入っているのです。

委 員：そうですね。

会 長：ここはこのままとかなという文章で。

委 員：シルバーも入っているということで。

会 長：はい、いろいろ。要は、学校の先生にだけ負わせるんじゃないよという趣旨だと思いますので、ここはこの内容でよろしいでしょうか。

委 員：もう、ほかの指針ありますので。

会 長：目標1は大丈夫ですか。

(はい)

会 長：また、後ほど何かあれば言っていただければと思います。ありがとうございました。

「目標2 互いの人権を尊重できる環境づくり」について

会 長：それでは、目標2に移ります。

互いの人権を尊重できる環境づくりにというパートでございます。事務局、お願いいたします。

事務局：それでは、目標2をご覧ください。

まず、1段落目ですが、子どものときからの人権教育が大切とのご意見があり、「子どもの時からの人権教育が大切です。」というように文言を追加しております。

また、「今後、継続してください。」を「今後も継続して実施してください。」に変更しております。

次に、2段落目ですが、全体的に性を使用した言葉が多いとのご意見がありました。また、性的少数者という文言を使っておりましたが、限定的に捉えられてしまうのご意見がありましたので、「誰もが自分らしく生きることを尊重する社会の形成を目指して、」に変更しており、それ以外の変更につきましては、言い回しの表現を変更しております。

次に、3段落目ですが、修正前の「男性が相談したい」という文言について、「男性が相談を希望する」という文言に変更したほうがよいとのご意見がありましたので、希望するという表現に合うように文言を変更しております。

次に、4段落目ですが、修正前の「ひとり親家庭」と限定するのではなく、「配慮が必要な人」と範囲を拡大し、「配慮が必要な人への各種支援」に文言を変更しております。

次に、5段落目ですが、市の職員に対する意見ということなので、最後の段落に移動させていただきました。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございます。

こちら、前回の議事はほぼ反映をさせていただいていることになっているかと思います。そうですね、確かに「性の」というのが非常に多かったので、変えていただきました。それから、ひとり親家庭ヘルプサービスをまず取り上げて、議論でしたけれども、結局そういうことではなくて、困っている方という、配慮が必要な方という言葉でありましたし、ひとり親家庭のサポートのいろんな問題、課題もあるようなので、ここはこういう文言になったということです。

ここは結構議論いろいろありましたので、何か、ちょっと趣旨が違うよとか、ニュアンスが

というのがあれば。大丈夫でしょうかね。もうちょっとちゃんと読んでいただいて、ちゃんと
というか、読んでいただいていると思いますが、改めて。

じゃ、目標2もこのあたりで。

(はい)

会 長：ありがとうございました。

目標3 男女共同参画社会実現に向けた推進体制の整備・充実」について

会 長：それでは、最後に、目標3、男女共同参画社会実現に向けた推進体制の整備・充実というパートでございます。それでは、事務局、お願いいたします。

事務局：それでは、目標3をご覧ください。

1段落目ですが、修正前の「授業を実施してください。」という文言が、教員に対して意見しているように捉えられてしまう可能性がありますことから、「授業を実践する支援を図ってください。」と文言を変更しております。

2段落目ですが、女性比率については、正確な比率に変更しております。また、「第三次東大和市男女共同参画推進計画終了まで」と、より具体的な期限を入れて、分かりやすくなるように文言を追加しております。

2段落目の最後ですが、修正前の「困難な状況です。」という文言を「困難な状況と言わざるをえません。」と文言を変更しております。

次に、3段落目ですが、修正前は「目標を現実的に」という文言を「目標を計画期間内に」に変更しております。

次に、4段落目ですが、修正前は「令和12年度末で40%を目指すために、」という文言でしたが、「数値目標を達成するために、」に変更しております。それ以外につきましては、文言を補足的に追加しております。

最後の段落についてですが、事前に会長と副会長及び事務局の3者で調整させていただきました。前回の審議会では、女性職員の活躍推進について、女性だけの問題ではなく、男性も含めた男女の問題として捉えてほしいとのご意見がありました。その一方で、現在の東大和市の現状を鑑みたときに、女性に焦点を当てたほうがよいのではないかというご意見もありました。また、環境整備と意識改革が大切とのご意見があり、そうした意見を踏まえた形で3者で調整させていただきました。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございます。

こちらは最後のパートになります。いつも懸案の女性比率の問題の前に、教育の現場ということが最初にあって、審議会の話、それから最後、庁内の女性の活躍というパートになります。内容的には、この間、議論、お言葉をいただいたものがほぼ含まれている感じで、前段のところはいかがでしょうか。最後の段落はちょっと、会長、副会長と事務局との案なので、ちょっと改めてもいただければなとは思いますが、教育の場のところでですね、1段落。

委 員：1段落目の段落のところで、授業を実践する支援を図ってくださいというふうにお直してくださ

っていますけれども、ここのところの、ちょっと文言整理で、「授業を実践するよう支援してください」という、もうちょっと硬くない言葉にしたほうがよろしいんじゃないかなと思います。

事業を実践するよう支援してください。支援を図ってくださいって、あまりちょっと言わない言葉ですので、授業を実践するよう支援してくださいのほうがストレートでよろしいかなと思います。

会 長：自ら考え、行動することができるようになるための授業を実践するよう支援をしてください。

委 員：支援してください。

会 長：支援してくださいですね、はい。いかがでしょうか。よろしいですかね。

じゃ、最初の段落はよろしいですかね。

よろしければ、審議会についてということで、これまではかなり、達成してくださいぐらいの言い方だったのが、数字が入ったりとか、残りの期間で達成してくださいということですね。あとは、かなり難しそうな状況だみたい、踏み込んだ言い方となっています。あと、最後は、ちゃんと計画をもう、あと4年間、立ててくださいというような言い方にしている。ちょっと役所の方には、こんな子どもに指導するみたいにはなっていますけれども。ちょっと改めて見ていただいて。

委員、お願いします。

委 員：「残り4年間という短い年数」というのが、最初の、「はじめに」に出ているんですよね。

残り4年間と、この残り4年間が何の残り4年間というの、こっちの最後のほうに出てくるので、これ未達成の事業に関してはという、最初のあれですね。未達成の事業、これをちゃんとこっちのほうこそ書かなくてはいけないかなと、何が残りの4年だったのか。ダブっていてもよろしいんでしょうけれども。

会 長：こちらには要りますね、確かにね。

委 員：前のほうのほうが必要でしょうね。最初のほうはね。そんな気がしますけれども。

未達成の事業というのは、この比率のことだけではないと思いますので、全般的に未達成の事業があるわけですから。そんな気がします。

会 長：ありがとうございます。

委 員：ここはそのままでもいいということで、終了までというところは、逆に。

会 長：皆さん、いかがでしょうか。

私は、ここはあってもいいのかなと思いますが。離れていますし。

委 員：もちろん。

会 長：確かに、委員おっしゃるとおり、「はじめに」のところは、いきなり残り4年間って何なのというのはあると思います。この計画だということではあるんですけども、確かに。ありがとうございます。

いかがですか。

委 員：1つ、違和感を持ったのが、審議会の段落の2行目に目標値とあるんですよね。あと、最後の目標をの段落の下ところにマイルストーンというところに目標値とあって、マイルストーンというのは何か必要なのか、一般的な言葉なのか、わざわざあえて入れる必要があるのか、

ちょっと分からないんですけれども、もし目標値って、これ上にも目標値って出ていて、そっ
ちにはマイルストーンという言葉は括弧づけでは入っていないんですよね。これは。

会 長：これは、私が説明しますが、ここは最終的な目標値が頭のほうで、こっちのほうは各年度ご
とのということで、ちゃんと1年ごとにつくってねという意味でマイルストーンです。各年度
ごとの目標値を、マイルストーンという言い方もするので、逆に分かる方は分かるかなという
ところはあるんですけれども。逆になくても、各年度ごとの目標値はマイルストーンなので、
書かなくてもいいので、括弧書きにしているので、逆になくてもいいじゃない、逆にあったほ
うが違和感があるというんだったら、それはなくてもいいと思うんですけれども。目標が違ひ
ます、そこは。

委 員：何か、個人的にあまりマイルストーンって、たまたま僕だけなのかもしれないんですけれども、
何かあえてわざわざ書く効果があるのかがちょっと。

委 員：マイルストーンというのは、説明しないと分かんないかも分かんないな。

それと、いいですか、ここの各年度の目標、各年度、これは現実的ですかね。審議会によっ
て、改選時期が全部違うんですよね。だから、各年度の目標というのが現実的かなということ
を思いますけれどもね。例えば、この審議会は2年に1回ですからね。各年度において定める
というのが、ちょっとマッチしない。各審議会によって、改選時期が全部違うから、そののを
何とか織り込めないのかな。各年度ごとというのが合わないような気がするんですよ。現実的
じゃないような気がするんだよね。

どうですかね、事務局の側からどうですか。審議会によって、改選時期が全部違うじゃな
いんですか。大きな改選時期もあるし、小さな交代の時期もあるし。各年度ごとの目標値ってね。

会 長：私がちょっと補足すると、やっと私も改選期だよねというのは理解しているので、委員のお
っしゃるとおりなんですけれども、逆にそこを細かく、以前の答申も改選期をちゃんとみたい
なことを書いているんですけれども、むしろ逆に、4年間で今年は改選期じゃないから20%
だというのも、それでいいと思っていて、その代わりこの改選期には40%だみたいな、毎年毎
年ちゃんと考えて動かないといけないんじゃないかという意味で、そこを考えてくれという思
いです、私は。

逆に、毎年、私たちもやっていますけれども、当然改選期がないところは変わらないので、
逆にいうと、ある委員会は今年はこれでいいんだというんだったら、いいんだと思うんですよ。
問題にする必要はないと思うので、むしろちゃんとこの4年間、40%になるように計画を立て
るためには、次の、要は来年改選期だったらどうするというのは、今のうちから考えなきゃい
けないだろうし、という意味では、各委員会にはちゃんと毎年考えてねと。放っておくと、こ
のままいくと、そのままいってしまいそうな気がしたので、あえて書きました。そこを、改選
期には必ずとかと言い出すと、ここ、またすごく長くなってしまうので、すみません、はしょ
ってはいます。

委 員：だから、そこは数値目標を達成するために、目標値を定めでいいんじゃないの。各年度とい
うのが、ちょっと私は、現実的じゃない。改選期じゃないときは、改選期に合わせて、空振りの
年度も数字を入れるということになるんだろうけれどもね。

ここの4年といっても、相当前から全然進んでいないんだよね、これ。

会 長：なので、目標達成してくださいというのと、このままいってしまいそうなので、あとは毎年ちゃんと考えて、意思表示してくださいと。今年はやらないよ、ここはやるよ、ここで達成するよとかという意味を持たせたかったので、あえて言いました。

委 員：違う課なんですけれども、やっぱりあれですね、子育てのほうとかなんですけれども、やっぱり各年度目標値は定めています。それを達成するために、それぞれ職員の皆様が頑張ってくださっているんですけれども、なかなか達成はできないという感じなんですけれども、ただ、その目標値を定めるというのは非常に重要なことだと思います。

委 員：そうだね、重要ですね。

委 員：やっぱり、マイルストーンは、こちらばかり見に行ってしまうと、ちょっと分かりづらいかな、逆にと思って。

会 長：はい。じゃ、これは要らない。

委 員：目標値は必要です。

委 員：マイルストーンって、かっこいいですよ。横文字で。

委 員：これから使うために、覚えさせるためにというのもいいのかなと。

委 員：目標値と出ていて、こっちにだけマイルストーンはなぜのところの、多分1個目の目標値は、この40%のことをいっているんですよ。実は、マイルストーンと並べている目標値は、そこに至るまでの都度の。

会 長：計画。

委 員：目標値と両方使っているけれども、別のことを言っているならば、マイルストーンってなじみがないものもあるけれども、一応聞いたことはある。何かもうマイルストーンだけにしてもよいかと私は読んでいたところで、いやもう取っちゃえよというから、あれとは思ったんですが。それに代わる何か、やっぱり目標値を2つの意味で混同して使うから、各年度って何だろうも出てくると思うんですけれども、会長の言うところは、本当に高い達成したい目標のために、このステップを踏まなきゃ、ステップごとの目標を到達する意識が都度必要なんじゃないのという意味は、本当にそうだと思う。じゃないと今までも達成してこなかったけれども、本当あつという間に4年経つねで終わっちゃうところだと思うので、何かマイルストーン一本に絞るのもいいけれども、なじみがないから、それに代わる、中間的な目標なのか何か。

ここ、目標値が違う意味で使っているからこそ、ダブらないほうがいいかなとも思いながら。

委 員：各年度の目標値ってなっているからね。各年度の目標値ってなっているから、分かりますけれどもね、何か。

委 員：年度ごとのにすればいいのか。年度ごとの目標を定めるか。

委 員：中身が違うからね。

会 長：何度ごとの目標を。

委 員：定めるなど、方法論ですよ。そこはね。

会 長：そうですね、はい。

委 員：だから、各年度のがついているから、分かるんだけどね。各年度の目標値、何回も言っているけれども。

委 員：普及していただきたい言葉です。

会 長：最終年度までの各年度の目標を定め、確実に達成してください。いかがですかね。

では、審議会のところまではこれで。

それで、最後の、女性職員の活躍推進については、昇格に関して躊躇する女性職員がいることから、育児期間中に代替職員を配置する等、環境を整備してくださいということで、ちょっとこれはなかなか分かりにくいし、現実的じゃないのではないだろうかというご意見があって、私のほうの宿題になりました。

ちょっと今日、実は今日欠席の委員が、いや、私もこれつくらなきゃということで、彼女からも文案をもらって、それをたたきにしてあと事務局とも話をして、副会長とも話をして、今の案になっています。確かにいっぱい同じような言葉で、いっぱい漢字が出ているので、読みにくいところもありますが、ちょっと、じゃ、1回読んでみます。

庁内における女性職員の活躍推進を掲げているものの、女性管理職の比率が、依然として低く、この状況が、男女の垣根を超えた組織の多様性（の確保）や人材活用の観点から課題となっています。そのため、仕事と育児の両立に配慮した職場環境づくりを推進する等の支援体制を構築し、女性が管理職を目指しやすい環境の整備を整えとともに、研修等を実施し、女性が管理職を目指したいと思うよう、意識改革を行ってください。

委 員：すみません、最後の目指したいと「思うよう」、というところが、「思えるよう」、ということなのかと。

会 長：ちょっと文章も長いので、ぱっと読みにくいところもあるんですが、2文でつくっているの

で。
言いたい思いは、こういうことです。やっぱり、男女というところはありますけれども、男性もやっぱり管理職というのは今躊躇する時代になっていますけれども、そうはいつても、まだまだ女性に負担かかるねというところもあるので、あえて女性という言葉を使っていますし、まだ市の状態もそうだというふうに事務局からも聞いていますので、あえて環境整備と意識改革をしてくださいというふうにしています。

委 員：とてもいい文章に直して下さったと思います。ありがとうございます。

1点ちょっと、気になるといえば、この文章の（の確保）というのがございますけれども、特に（の確保）は要らないんじゃないかなというふうに思いました。

会 長：ありがとうございます。

ちょっと迷いながらつけてしまった。

あとは、いかがでしょうか。

委員。

委 員：長い文章はいいんですけれども、点が多いんじゃないかと思うんですね、必要のない点が。

「管理職の比率が依然として低く」は、これはそのままいいという気もしますし、その後、「この状況が、」で点というの、これも要らないような気がします。そのほうが、ないほうがかえって読みやすいんじゃないかと、長い文章とかだと。長いからって点をたくさん入れちゃうと、かえって分かりにくいんじゃないかなと思います。

会 長：私なんか、句読点世代なので、ついつい入れてしまいますが、ありがとうございます。

委 員：「女性が管理職を目指しやすい」、これ何で、ダブっちゃっているの、これは整理できな

い、もしかして。

会 長：女性が管理職を目指しやすい環境、最後のところですね。

委 員：同じことですよね、これ。このほうが逆に分かりにくくなっちゃいますかね、文章として。
長いのはいいんですけども。長いのは問題ないと思うんですけども。

委 員：関連ですみません、今のところ、「環境の整備を整える」って、環境の整備の中に整えるが入っているなど。

委 員：そうですね、そこも変でしたね。

委 員：環境の整備をするとともにとか、整えるを生かすとしたら、環境を整える。

会 長：そのほうが何か、漢字が多いので、環境を整えるでいいですかね。女性が管理職を目指しやすい環境を整えるとともにということ。

委 員：その重複しているでしょうというところ、管理職を目指しやすいと、目指したい、だから環境を整えることと意識改革というのがきつと同じでしょうから、もう支援体制を構築し、研修などを実施しながら、女性が管理職を目指したいと思えるよう、環境整備や意識改革を行ってくださいみたいにする、この管理職を目指しやすいというところ、1回だけで済むんじゃないでしょうか。

委 員：「環境整備を整えるとともに」につながるんでしょう。

委 員：構築し、研修などを実施しながら、女性が管理職を目指したいと思えるよう、環境整備もするし、意識改革もする。並べちゃえばいいんじゃないかと、後ろのほうに。

意識もですけども、それって多分環境があつてこそ、同じ環境のまま頑張れと言われてできることと、環境もこんなに整っているし、やったらできるかもという、環境があるだけでも多分やってみようにはならないと思うんですけども。だからそこが2つセットだということをより強調するためにも、繰り返しで言うよりかは。

会 長：そういう意味では、そのためには、仕事と育児の両立という一番課題である職場環境というのをあえて言った上に、さらに目指しやすい環境というのを言っているんですよね。これ、ほかに何かありましたっけ。特にないですか。

委 員：ここ、同じっちゃ同じ、支援体制の構築で環境のことは言っているとは思えるんですけども、全削除ではなくて、環境整備自体は意識改革の前に移動することで、そこにつながっているんだよ。

会 長：構築し、研修等を実施し。

委 員：し、しになるから、ながらとか。

事務局：この最初の仕事と育児の両立に配慮した職場環境づくりを推進する等の支援体制を構築しというところは、女性だけではなくて、男性も参画できるようにというような議論があったところを踏まえたものになっています。その後の、女性の管理職を目指しやすい環境整備を整えるというのは、今の議論の中であったみたいに、女性が昇進できないような体制だから、そこを環境整備しようよねというところで、文言が1個入っていて、最後のところは、まさにおっしゃっているみたいに、環境整備だけでは駄目で、女性の中でもそういうふうに環境整備をしたから、自分も受けたいと、どうせ私なんかというところではなくて、受けたい、どんどんやっていきたいというふうに促したいというところで、3つ書かせていただいたというところ

が経緯です。

会 長：ありがとうございました。フォローありがとうございました。

委 員：否定するあれじゃなくて、それを踏まえて、意識改革自体も女性だけにしていないよなというふうに読もうと、私は読んでおりました。育児との両立も、男女ともにだし、でも今まだ、そこまでフラットにし過ぎないように、どうしてもまだ女性に偏っているところがある現実もあるよとは、前回の議論でもあったので、そうなのかなと思うので、そのようにして。長過ぎるようなところもあるから、そういう意識でまとめられたらと思います。

会 長：ここの研修も、別に女性だけというわけじゃないんですよ。使う上司の方も思っているんですけれども。

事務局：女性という形で限定はしていない。

会 長：男性上司がちゃんと女性が活躍の理解だとか。

委 員：結局、全体ですね。

会 長：全体だと思います。そういう意味では、男女のことですけれども。

委 員：意識改革も、この当人だけじゃない。この女性を、管理職になって活躍できるようにと、周りも考えるということ。

会 長：はい。目指しやすい、要は、研修などを実施し、女性が管理職を、平たくいうとやりたいと思えるようにということなんですけれども、ちょっとやりたいと思えるというののもちょっと、言葉としてはどうかなと思って、同じようになってしまったんですけれどもね。管理職を志向したいというのも硬いし、女性が管理職になりたいと思えるよう、とかなんですけれどもね。

委 員：そこは、一番最後の女性が管理職を目指したいと思えるよう、のところを生かして、その前の同じ文言のところを削って、ちょっと整理したらどうですか。

会 長：女性が管理職を目指しやすい環境というところですか。

委 員：そこをちょっと切って、取っちゃって、文章を整えるときれいになるんじゃないですか。もう男性側ということよりも、網羅的にここを答申するんじゃなくて、ピンポイントで答申しないと意味がないんですよ。だから、男性がどうのこうのというのは、ここは要らないと思いますけれどもね、考え方としては。女性に焦点を当ててやっているわけですから。

さっき言ったように、下から2行目の女性が管理職を目指しやすい環境、その辺をちょっと取って、崩したらどうですか。

委 員：お願いしたいことは、もうこの文にすごい含められていて、修正前より肉づきがあって、すごい分かりやすくなっています。

ただ、長くなって読みづらいというのであれば、委員がおっしゃったように、管理職を目指しやすい環境を整えるとともに、意識改革を行ってください。その前に、女性が管理職を目指したいと思えるようというのを入れていただいて、環境を整えるとともに、意識改革を行ってくださいというのでもいいのかもしれませんが。ただ、先ほど説明を受けて、こういう意味合いだから、こういう文になったんだというので、違うとおっしゃるなら、まとめるのも乱暴かなと思ったりもして言わなかったんですけれども、でもここをくっつけると結構すっきりしますよね。ただ、繰り返しているかなみたいな感は与えないかもしれないですね。

なので、本当に環境を整えることと、意識改革を行うというのは、本当に重要だと思うので

すよね。これは絶対入れていただきたいですね。

委員：そう、その言葉は残して、女性が管理職を目指しの、その言葉は1つどっちか取ればいいんですよ。

委員：読んでみますか。

職場環境づくりを推進する等の支援体制を構築し、女性が管理職を目指したいと思えるよう、環境を整えるとともに、意識改革を行ってくださいと、こういうことですよね。

副会長：研修等はなくす。

委員：研修等は入れます、もちろん。今ちょっと、すみません、読まなかったですけども、研修等を実施し、これも重要です。

委員：そうすると、重複じゃないという印象を与えます。

会長：職場環境づくりを推進する等の支援体制を構築し、女性が管理職を目指したいと思えるよう、環境を整えるとともに、研修等を実施し、意識改革を行ってください。意識改革を図ってください。

委員：研修と意識改革が近いというのがいいと思います。

委員：そうですね。

委員：そのための研修なんだということが。

会長：一旦、ここは大丈夫でしょうか。

委員：意味合いは変わらないでしょうから。

会長：趣旨は皆さん共通しているので。

委員：そう、一緒だと思います。

会長：あとは、ちょっともう一回並べてみると、おやというところもあるかもしれませんが。

委員：中身は変わっていないから、いいんじゃないですか。

副会長：いや、ここではなくて、ちょっと戻っちゃうんですけども、今改めて重複するというところの観点で見直してみたら、このところ、さくっと削除できるなと思ったところが、3の一番上の段落なんですけれども、ちょっと削った言い方で言いますが、教育の場における男女共同参画の推進については、次世代を担う子ども達が、互いの個性を認め、ここからですけれども、互いの個性を認め合い、自ら考え、行動することができるようになるための、これ、授業システムの支援をしてくださいという言い方もあると思うんですけども、でも、授業を実践するよう支援してくださいというふうに、なので全体の2行目のところの一部と、3行目の一部が削除できるかなと思いました。

会長：認め合い、自ら考え、行動することができるようになるための。

委員：行動できるようになるための。することはなくてもいいのかなと、行動できるように。

会長：お互いの個性を認め合い、自ら考え、行動できるようになるために授業を実践するよう、支援してください。

副会長：さっき、おっしゃっていただいた、授業を実践するよう支援してくださいでいいと思うんですけども、別の言い方の例が、ちょっとさっき出たんですけども、授業を実践するよう支援してくださいということです。

なので、今新たに申し上げたのは、削除できるところがあるなという。

会 長：そうですね、ありがとうございます。

委 員：すみません。

会 長：ありがとうございます。皆の知恵なので、ありがとうございます。

委 員：目的のこと、ちょっと1つ確認させてください。

管理職の比率が依然として低くとあるんですけども、審議会の比率って、この報告の中に出ているんですけども、管理職の比率って出ているんですけども、

事務局：資料としては、恐らくここで提示したものはなかったかなと思います。ただ、私どもの資料としては把握はしていたはずでして。

委 員：それは、審議会で報告をもらって、それに対する答申というときに、比率が依然として低くって、何かどこでその数値って分かるのかなというのが。

委 員：何かで見たんですけどもね。

委 員：何か、これ市民とかが見たときに、じゃ、どのぐらいなのとかって、正直低いかどうかと分からないですよね。審議会はまだ出ているから。

委 員：これは3年前までずっとあったんですよ。私がいらない2年間で消えていてね。だから、何かあったのかも分からないよ、庁内で。低いですよ、十二、三%じゃなかったっけ。随分問題になっていたんですよ。

委 員：この文言を入れるとしたら、それをやっぱりつけないと。

委 員：ないのに答申というのもおかしい。

委 員：そうですね。

事務局：何%と依然として低く、みたいなイメージですかね。

委 員：いや、もしここに載っていないんだとしたら、何かこういう低くって言っちゃっていいものなのか。何でこの審議会をそれを知っているのかという。

事務局：公表は実はされていたと思います。

委 員：ホームページですか。

事務局：ホームページ上に、行動計画というのを作成しておりまして、そこで公表されているはずですよ。ちょっと今、携帯で。そこでも管理者の比率は出ています。

会 長：多分、この資料にはなくて、多分この会議の中で事務局からお話があった認識なんです。私はどうなんですよ。

委 員：そうしたら、議事録とかも残ると思うので、本当は会議の中でその資料を頂いて、本当に低いのかどうかというのはやっぱり共有した上で出したほうがよかったのかなと、後づけですけども。本当は多分。

事務局：すみません、ちょっと資料を今日作成していないので、口頭で、では皆様のほうにはお伝えさせていただければと思います。

まず、管理職の女性の割合なんですけど、この計画の中では目標値を14%に設定をしているのですが、令和5、6、7年度と、今この計画のほうに出ておりまして、5年度からちょっとお伝え申し上げますと、5年度が14%、令和6年度が13.8%。令和7年度が10.7%、徐々に下がっているというような状況でございます。これは、各年度の4月1日時点での状況でございます。

これ、係長職のほうの女性の割合も出ておりまして、ここもちょっと管理職なんですけれども、参考までにこちらもお伝えさせていただければと思います。

こちら、目標値が25%、先ほどと同様、令和5年度から7年度まで出ておりまして、令和5年度が17.1%、令和6年度が14.4%、令和7年度が14.9%となっております。依然としてやはり目標値としては低い状況がございます。

資料がなくて大変申し訳ないんですが。

会 長：ありがとうございます。

委 員：それを、データを示していただいていたとしたら、これって令和6年度の結果に対する答申なので、令和5年度時点では目標値を達成しているんですよね。

事務局：管理職はそうですね。14%なので、ちょうどという形になります。

委 員：そうすると、これが本当は、低くという表現じゃなくて、本当は下がっているとか、そういうことになるのかなと。

もう、今回は低くでいいんですけども、目標自体から低いということですよ。目標を達成しているわけだから。

会 長：低いというのもありますし、もともとこの議論は、審議会がなかなか女性が進まないねというときに、例の充て職みたいな話で、要は課長とか係長、ついていないよねと。つまり管理職が、要は4割もないので、おのずとその40%は遠いよねみたいなところから、やっぱり管理職はつけていかなきゃいけないというのがあって、この流れで来てしまったので、確かに委員おっしゃるとおり、検証をしたかというところ、漠然と聞いていた記憶はあるんですけども、そういうレベルです。

なので、あまりここは低くなっているとか、その数字自体よりは、その関連でもっとちゃんとつけなきゃいけないねという、ちょっとそんな感じですかね。

委 員：でも、今、低くなっているのがあったので。

会 長：事実なので。間違いではないかなという。

ありがとうございました。こういう確認もちゃんとしていかないといけない、申し訳ないです。

目標3もほぼよろしいでしょうかね。

(はい)

会 長：それでは、改めて最初から最後までということで、途中ありましたので、「はじめに」のところ、委員からありましたように、残り4年間というところをきちっと目標3と同じように言うべきと、これはもうおっしゃるとおりなので、直しましょう。

事務局：そこで、会長がおっしゃっていたのは、「はじめに」の一番最後の段落で、未達成の前に「また」を入れるかどうかということも、ちょっと。

会 長：申し上げたつもりだったんですけども、すみません。「また」を入れてと。

事務局：じゃ、「また」ありで。ありがとうございます。

会 長：あとは、計画全般について、1番目の「課ごとではなく」というところはもう取ってということで、日常的に課を横断するということですね。

あとは、最後の、「必要な情報が必要な人に」というところも、必要、必要じゃなくて、「適

切に」。

目標１は大丈夫だったかな。

委員：ちょっといいですか。

会長：どうぞ、気づいたことがあったら言っていただければ。

委員：この今日の資料１が最終版になっているということですか。

会長：はい、そうです。

委員：ここの修正前のほう、こっちを見てもいいんですよね。

会長：いいです。

委員：ちょっと今、ふと、第三次東大和市男女共同参画推進計画（以下「計画」という。）とっているから、これを繰り返さなくてもいいんですか、全部。だから、計画終了まで残り４年間にするし、これが以下で全部通るなら、目標３のところも、計画にと、短くしてもいいんですよねというのをちょっと。

会長：いいですね、確かにそうです。申し訳ございません。

委員：かかりますものね、全部に。

会長：ありがとうございます。

委員：全部長く言っていると大変かなと思ったら、もともとちゃんと以下計画というのと、省略があると書いておられます。すみません。

会長：あまり、使っているところないんですよね。

委員：実は。

会長：ありがとうございました。

思いのほか、順調なので、改めてちょっと見ていただいて。事務局も、不明な点とかありましたら。

次、目標２のところは、これも特に大丈夫ですか。事務局も大丈夫ですか。

事務局：はい、大丈夫です。

会長：目標３は、一番頭のところが、先ほど副会長からありましたように、互いの個性を認め合い、自ら考え、行動できるようになるための授業を実践する支援をしてください。

事務局：「実践するよう支援してください」でよろしかったでしょうか。

会長：どっちでしたっけ。

副会長：最初にそういうふうに言っていただいて、別な言い方で、授業実践の支援をしてくださいという言い方もできるかなと思ったんですけども、シンプルにするという場合に、ただ何か、授業実践への支援というのが、ちょっとあまり事務局から受けがよくなかったのがありまして。すみません、何か変な言い方しちゃって。

会長：すみません、じゃ、確認で、「授業を実践するよう支援してください」で。ここはご意見とか大丈夫ですか。

委員：はい。

会長：あとは、審議会のところは、マイルストーンというのはもう取って、「最終年度までの各年度ごとの目標を定め」ということで、上段の目標値とかぶらないような感じにするというところでございます。

事務局：すみません、各年度ごとだと、「各」と「ごと」が。

会 長：「最終年度までの各年度の目標」でいいですかね、じゃ。

事務局：か、年度ごとか、どちらか。

会 長：どちらか。年度ごとの目標、各年度の目標。「各年度」でいいですかね。

最後のところは、余計な句点を取る。句読点のところですね。

あと、多様性（の確保）の括弧は要らない。

最後のところは、「職場環境づくりを推進する等の支援体制を構築し、女性が管理職を目指したいと思うよう、環境を整えるとともに、研修等を実施し、意識改革を行ってください。」

大丈夫でしょうかね。事務局も大丈夫でしょうかね。

それでは、全ての項目で審議、答申ができました。ありがとうございました。これで、ほぼまとまったかと思しますので、答申については、1月下旬以降、市長に渡す予定になっておりますので、それまでの今後の予定について、事務局から説明をいただきます。よろしくお願いします。

事務局：皆さん、本日は様々なご意見ありがとうございました。

会長より今ご説明がありましたが、1月下旬以降、市長の予定にちょっと寄ってしまいますので、下旬以降とさせていただきたいなと思います。いただきますが、下旬以降に市長に答申書をお渡しする予定となっております。市長に答申書をお渡しした後、その写しにつきましては、委員の皆様へ郵送にてお送りさせていただきます。

また、この後、事務局のほうは年次報告書、こちらを作成をいたしまして、3月に公表をする予定となっております。こちら配付の準備が整い次第、皆様へ郵送でお送りいたします。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございました。

今、答申をとりましたけれども、本当はできれば、今日の文言を変えたのは一旦送っていただけるのは可能なんでしょうか。

事務局：分かりました。では、そのような対応をさせていただきます。

3 東大和市防災会議委員の選任について

会 長：それでは、続いて、今日の議題の最後のところで、東大和市の防災会議委員の選任についてというところを、事務局から説明をお願いします。

事務局：東大和市防災会議につきましては、東大和市男女共同参画推進審議会より1名選任しております。現在、東大和市防災会議委員については、島津委員がご就任しており、任期が令和8年3月31日までとなっております。令和8年4月1日から男女共同参画推進審議会の任期満了の令和9年7月31日まで、東大和市防災会議委員をお引受けいただける委員の方を推薦したいと考えております。

東大和市防災会議委員の会議の内容は、追加資料にあるとおりです。

追加資料の2のほうをちょっとお手元に見ながら、話を聞いていただければと思いますので、追加資料の2のほうをお出してください。

追加資料の2にあるとおり、総合防災訓練の内容や地域防災計画の修正等を検討する会議で、年一、二回の平日の昼間に開催されております。

なお、現在の防災会議委員は、25名中、女性が2名のみとなっております、男女共同参画の観点から見た場合、多様な視点とはいえ状況ではございません。そうしたことも踏まえ、女性からの積極的な立候補があれば幸いです。

ただし、女性からの立候補がなかった場合、男性の方が行っていただけるという方がいらっしゃいましたら、積極的に立候補をお願いします。

事務局からは以上です。

会 長：ありがとうございます。

防災会議の内容はよろしいですね。年に一、二回、不定期ということがございます。あと、会議が1回1時間から1時間半と、平日の昼間ということで、ちょっと大変かと思いますが、そういう状況でございます。どなたかやっていただけの方はいらっしゃいますか。

— 東大和市防災会議委員の選任 —

(拍手)

会 長：よろしいですね、事務局。

事務局：ありがとうございます。

会 長：大切なことなので、よろしくお願いいたします。

4 閉会

会 長：それでは、以上になりますかね。それでは、ちょっと予定も、珍しく早い。

ほかにはよろしいですか。

それでは、以上をもちまして、本日の審議を全て終了します。

これをもちまして、第5回第十一次東大和市男女共同参画推進委員会を終了いたします。

本当に、残り2週間というところで、お忙しいところありがとうございました。寒くなりますので、くれぐれもお体にお気を付けください。

お疲れさまでした。

— 終了 —